



第63・64号 (昭和40年2—3月)

目次

関係法令 1

学内規則

富山大学工学部規程の一部改正 2

 〳 計算センター規則の制定 2

 〳 計算センター運営委員会規則の制定 3

諸会議 3

人事異動 4

学内諸報

昭和39年度卒業式 6

第1回修士学位記授与式 6

養田教授に学術賞 6

植木、小笠原両教授の停年退職 6

本学職員の集団献血 7

学内職員レクリエーション 7

職員消息 7

主要日誌 8

関係法令

法律

- 第15号 国立学校設置法の一部を改正する法律
- 第16号 国立養護教諭養成所設置法
- 第19号 国立学校特別会計法の一部を改正する法律
(以上40.3.31官報)

省令

- 文部2号 学校基本調査規則の一部を改正する省令
(40.2.5官報)
- 文部6号 学位規則の一部を改正する省令
- 文部7号 大学設置基準の一部を改正する省令
(以上40.3.6官報)
- 大蔵5号 国家公務員等の旅費支給規程の一部を改正する省令
(40.3.8官報)
- 文部8号 大学入学資格検定規程等の一部を改正する省令
(40.3.26官報)

文部9号 科学研究費交付金等取扱規程を廃止する省令
(40.3.27官報)

文部10号 学位規則の一部を改正する省令
(40.3.29官報)

規則 (人事院規則)

- 16-0 職員の災害補償の一部を改正する規則
(40.3.5官報)
- 9-2 俸給表の適用範囲の一部を改正する規則
- 9-8 初任給昇格昇給等の基準の一部を改正する規則
- 9-22 暫定手当の一部を改正する規則
- 9-34 初任給調整手当の一部を改正する規則
- 9-45 昭和39年度改正法第4条の規定の施行に伴う最高号俸をこえる俸給月額を受ける職員の俸給月額の決定等に関する規則
(以上40.3.30官報)

訓令

- 文部2号 人事に関する権限の委任等に関する規程の一部を改正する訓令 (40.3.19官報)
- 文部3号 事務局に部を置く国立大学等を指定する訓令の一部を改正する訓令 (40.3.24官報)

告示

文部95号 昭和40年度において発注する土木建築に関する工事、施設等の解体運搬に関する工事及び造園、造林等の工事又は物品の製造、物件の買入れ若しくは立木竹の売払の一般競争及び指名競争に参加する者に必要な資格、資格審査の申請の時期及び方法を定めた件
(40.2.10官報)

文部96号 昭和40年度以降の学校基本調査の調査票及び集計表の提出期限を定める等の件

文部97号 昭和40年度以降の学校保健統計調査の調査票及び集計表の提出期限を定める等の件

文部98号 学校教員調査規則に基づき調査を行う年度及び調査票等の提出期限を定めた件
(以上40.2.13官報)

文部105号 教員免許状授与の所要資格を得させるための課程を認定した件 (40.3.8官報)

文部110号 科学研究費補助金取扱規程を定める件
(40.3.30官報)

官庁報告 (国家試験)

文部省 昭和40年度国立大学学生募集要項(富山大学など第2期校) (40.2.2官報)

人事院 昭和39年度国家公務員採用東海北陸地方中級試験合格者 (40.2.16官報)

学 内 規 則

富山大学工学部規程の一部改正

富山大学工学部規程の一部を改正する規程を次のように制定する。

昭和40年2月22日

富山大学長 横田嘉右衛門

富山大学工学部規程の一部を改正する規程

富山大学工学部規程（昭和25年12月15日制定）の一部を次のように改正する。

別表(2) 工学専攻科教育課程の表中、電気工学専攻第4コースの項の次に

| | | | |
|-----------|---------|----|------|
| 第5 コース | 自動制御 | 6 | を加え、 |
| | 同演習及び実験 | 18 | |
| | 文献指導 | 2 | |

工業化学専攻第1コースの

「 | 実 験 | 12 | 」を

「 | 実 験 | 18 | 」に、

同第4
コースの 「 | 物理化学特論(第1) | 4 | を
| 化学工学特論(第1) | 2 | 」

「 | 物理化学特論(第1)又は
化学工学論(第1) | 6 | に、及び
のいずれかについて

同選択「 | 化学工学特論(第2) | 4 | 」を
科目の

「 | 酸 化 学 特 論 | 2 |
| 化学工学特論(第2) | 2 | 」

に改め、並びに

機械工学専攻の項の全部を次のように改める。

| | | | |
|-------|-----------|--------------|---------|
| 機 械 工 | 第1 コース | 応用弾性学 | 6 |
| | | 応用弾性学実験 | 18 |
| | | 文献指導 | 2 |
| | 第2 コース | 振動工学 | 2 |
| | | 機械力学 | 2 |
| | | 情報理論 | 2 |
| | | 数理工学演習 | 2 |
| | | 実験実習 特別研究 | 4 10 |
| | 第3 コース | 流体機械特論 | 4 |
| | | 流体力学 | 4 |
| | | 実験実習 | 4 |
| | | 特別研究 | 10 |
| | 伝熱特論 | 2 | |

| | | | |
|------------|-----------|-----------|----|
| 学 専 攻 | 第4 コース | 蒸気原動機 | 2 |
| | | 応用熱力学 | 2 |
| | | 実験実習 | 4 |
| | | 特別研究 | 10 |
| 第5 コース | | ディーゼル機関特論 | 4 |
| | | ガソリン機関特論 | 2 |
| | | ガスタービン機関論 | 2 |
| | | 実験実習 | 4 |
| | | 特別研究 | 10 |
| 選 択 科 目 | | 機構学特論 | 2 |
| | | 工業力学特論 | 2 |
| | | 応用数学特論 | 3 |
| | | 計画数学特論 | 2 |
| | | 自動制御特論 | 2 |
| | | 電子回路 | 2 |
| | | 電気計測 | 2 |
| | | 機械工学特論 | 3 |

附 則

この規程（改正）は、昭和40年4月1日から実施する。ただし、昭和40年度以前の富山大学工学部機械工学科の卒業生は、従前の工学専攻科機械工学専攻の第2コースまたは第5コースの教育課程を履修することができる。

（改正事由）

1. 電気工学専攻に第5コースを入れたのは、本学工学部の学科目に「自動制御」が加わったため。
2. 工業化学専攻については、工業化学科の中に化学工学を履修する者の課程が設けられているので、当分の間、化学工学をも含めた工業化学専攻の課程を履修できるようにした。
3. 機械工学専攻については、生産機械工学科が設置され之に伴い従来の機械工学科の学科目も変更されたので、之に相応して機械工学専攻の課程を全面的に改正した。しかし、昭和40年度以前の卒業生は希望により従来の機械工学専攻の課程の中の特定コースを履修することができるようにした。

富山大学計算センター規則の制定

富山大学計算センター規則を次のように制定する。

昭和40年3月15日

富山大学長 横田嘉右衛門

富山大学計算センター規則

（設置）

第1条 富山大学（以下「本学」という。）に、電子計算機の利用による研究の推進を図るため、富山大学計算センター（以下「計算センター」という。）を置く。

（業務）

第2条 計算センターは、次に掲げる業務を行なう。

- (1) 各部局からプログラムをしたものをもって依頼されたものの計算の実施
- (2) 職員及び学生等に対するプログラミングの指導
- (3) その他必要な事項

(職員)

第3条 計算センターに、計算センター室長（以下「室長」という。）及びその他必要な職員を置く。

- 2 室長は、本学教授のうちから第4条の委員会が推せんし、学長が任命する。
- 3 室長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 室長は、計算センターの監督指導に当たる。
- 5 職員は、計算センターの業務に従事する。

(運営委員会)

第4条 計算センターの運営を円滑にするため、本学に、富山大学計算センター運営委員会を置く。

- 2 前項の委員会の組織及び運営等については、別に定める。

(管理)

第5条 計算センターの事務は、当分の間、事務局において行なう。

(雑則)

第6条 この規則に定めるもののほか、計算センターに関する必要な事項は、別に定める。

附 則

1. この規則は、昭和40年4月1日から施行する。
2. 富山大学電子計算機室設立準備委員会規則（昭和39年4月24日制定）は、廃止する。

富山大学計算センター 運営委員会規則の制定

富山大学計算センター運営委員会規則を次のように制定する。

昭和40年3月15日

富山大学長 横田嘉右衛門

富山大学計算センター運営委員会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、富山大学計算センター規則第4条第2項の規定に基づき、富山大学計算センター運営委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 計算センターの運営に関すること。
- (2) 計算センター室長の推せんに関すること。
- (3) その他計算センターに関する重要事項

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 計算センター室長

- (2) 各学部教官 各2名
- (3) 経営短期学部教官 1名
- (4) 事務局長

2 前項第2号及び第3号の委員は、各学部等（各学部及び経営短期学部をいう。以下同じ。）の教授、助教授又は講師のうちから当該学部等の長（経営短期学部にあつては短期大学主事）の推せんに基づき学長が任命する。

3 前項により任命される委員の任期は、2年とする。ただし、その補欠委員の任期は前任者の残任期間とし、いづれも再任を妨げない。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員長は委員の互選とする。

2 委員長は委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、委員長の指名した委員がその職務を代行する。

(議事)

第5条 委員会は、委員の2分の1以上の出席により成立し、議事は出席委員の過半数をもって決する。ただし、可否同数のときは議長がこれを決する。

(専門委員)

第6条 専門の事項を調査研究するため必要があるときは、委員会に期間を定めて専門委員を置くことができる。

2 専門委員は、本学の職員のうちから、委員会が推せんし、学長が任命する。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、事務局において処理する。

附 則

この規則は、昭和40年4月1日から施行する。

諸 会 議

第14回 評議会（2月22日）

(議題)

1. 39年度卒業式（修了式）及び40年度入学式等について
2. 工学部規程の一部改正について
3. 教官の特別昇給の追加配当について
4. 40年度富山大学科学教育研究室入室案内について
5. 卒業証書について

(報告事項)

1. 40年度富山大学入学志願者の学部別定員及び倍率について
2. 文教施設の要求について
3. 欠員不補充について

| | |
|--|--|
| <p>第15回 評議会 (3月15日) (議題)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教官人事について 2. 39年度卒業生及び修了生の認定について 3. 40年度入学者選抜基準(案)について 4. 〃 入学試験採点委員及び調査書審査委員の委嘱について 5. 富山大学計算センター規則(案)について 6. 〃 計算センター運営委員会規則(案)について | <p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 39年度追加予算について 2. 学生の懲戒について <p>第16回 評議会 (3月30日) (議題)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 39年度入学試験合格者の判定について 2. 沖縄学生の入学受入れについて <p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職員人事について |
|--|--|

人 事 異 動

| 現 官 職 | 氏 名 | 異 動 内 容 | 発令年月日 | 発 令 庁 |
|--------------------|-----------|------------------|----------|-------|
| | 近 堂 和 郎 | 助教授(文理学部)に採用する | 40. 4. 1 | 文 部 省 |
| | 八 木 寛 | 〃 (工学部)に採用する | 〃 | 〃 |
| | 吉 田 和 夫 | 講 師(文理学部)に採用する | 40. 4. 1 | 富山大学 |
| | 時 沢 貢 | 助 手(工学部)に採用する | 40. 3. 1 | 〃 |
| | 島 崎 利 治 | 〃 (〃)に採用する | 〃 | 〃 |
| | 中 島 松 一 | 〃 (薬学部)に採用する | 40. 4. 1 | 〃 |
| | 岡 田 竹 史 | 〃 (〃)に採用する | 〃 | 〃 |
| | 榎 田 正 美 | 〃 (工学部)に採用する | 〃 | 〃 |
| | 長谷川 淳 | 〃 (〃)に採用する | 〃 | 〃 |
| | 金 川 和 子 | 教 諭(附属小学校)に採用する | 〃 | 〃 |
| | 桐 野 秋 豊 | 〃 (〃)に採用する | 〃 | 〃 |
| | 池 田 浩 子 | 教務員(薬学部)に採用する | 〃 | 〃 |
| | 高 安 紀 | 〃 (工学部)に採用する | 〃 | 〃 |
| | 野 口 隆 | 事務員(庶務課)に採用する | 〃 | 〃 |
| | 岡 田 東 彦 | 〃 (〃)に採用する | 〃 | 〃 |
| | 尾 山 吉 昭 | 〃 (〃)に採用する | 〃 | 〃 |
| | 松 本 進 | 〃 (会計課)に採用する | 〃 | 〃 |
| | 林 有 一 | 技術員(計算センター)に採用する | 〃 | 〃 |
| | 高 尾 郁 子 | 技能員(厚生課栄養士)に採用する | 〃 | 〃 |
| | 大 田 洋 子 | 技術員(薬学部)に採用する | 〃 | 〃 |
| | 黒 川 浩 正 | 〃 (工学部)に採用する | 〃 | 〃 |
| | 山 本 健 市 | 〃 (〃)に採用する | 〃 | 〃 |
| | 高 塚 清 文 | 〃 (〃)に採用する | 〃 | 〃 |
| | 橋 本 竹 二 郎 | 技能員(薬学部)に採用する | 〃 | 〃 |
| | 六 土 幸 男 | 用務員(工学部作業員)に採用する | 〃 | 〃 |
| 文 部 技 官 (工 学 部) | 西 出 紀 子 | 助手に昇任させる | 40. 3. 1 | 〃 |

| 現 官 職 | 氏 名 | 異 動 内 容 | 発令年月日 | 発 令 庁 |
|---------------------|-----------|----------------------------|----------|-------|
| 文 部 事 務 官 (教育学部) | 杉 本 啓 郎 | 文部技官に配置換する | 40. 3. 1 | 富山大学 |
| 助 教 授 (教育学部) | 蔵 島 茂 | 教授に昇任させる | 40. 3.25 | 文 部 省 |
| 助 教 授 (文理学部) | 小 林 貞 作 | 教授に昇任させる | 40. 4. 1 | 〃 |
| 助 教 授 (教育学部) | 丸 山 豊 一 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 講 師 (経済学部) | 大 谷 明 夫 | 助教授に昇任させる | 〃 | 〃 |
| 講 師 (経営短大) | 泰 地 靖 弘 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 〃 | 田 村 茂 夫 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 〃 | 下 川 浩 一 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 岡 山 大 学 講 師 | 藤 森 勉 | 富山大学助教授(教育学部)に昇任させる | 〃 | 〃 |
| 教 授 (教育学部) | 蜷 川 栄 作 | 教育学部長に併任する | 40. 3.31 | 〃 |
| 〃 | 玉 生 正 信 | 評議員に併任する | 〃 | 〃 |
| 教 授 (経済学部) | 野 崎 富 作 | 経済学部長に併任する | 40. 4. 1 | 〃 |
| 〃 | 城 宝 正 治 | 経営短期大学部主事に併任する | 〃 | 〃 |
| 会 計 課 長 | 中 原 二 良 | 長岡工業高等専門学校事務部長に昇任させる | 〃 | 〃 |
| 文 部 省 会 計 課 総 務 班 | 木 下 四 部 | 富山大学会計課長に昇任させる | 〃 | 〃 |
| 助 手 (経済学部) | 瀬 岡 吉 彦 | 講師に昇任させる | 〃 | 富山大学 |
| 助 手 (経営短大) | 藤 原 荘 介 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 岡 山 大 学 助 手 | 日 合 奨 | 富山大学講師(薬学部)に昇任させる | 〃 | 〃 |
| 講 師 (教育学部) | 布 村 啓 一 | 富山工業高等専門学校に出向させる (助教授に) | 40. 4. 1 | 〃 |
| 文 部 事 務 官 (会計課) | 森 田 隆 夫 | 〃 (用度係長に) | 〃 | 〃 |
| 文 部 事 務 官 (施設課) | 高 杉 正 範 | 〃 (厚生係長に) | 〃 | 〃 |
| 文 部 技 官 (施設課) | 奥 井 信 夫 | 〃 (施設係長に) | 〃 | 〃 |
| 文 部 事 務 官 (庶務課) | 中 島 菊 枝 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 〃 | 石 野 俱 行 | 工学部庶務係長に昇任させる | 〃 | 〃 |
| 事 務 員 (工学部) | 羽 根 俊 | 会計課に配置換する | 〃 | 〃 |
| 文 部 事 務 官 (会計課) | 高 岡 博 | 施設課に配置換する | 〃 | 〃 |
| 助 手 (工学部) | 佐 藤 恭 一 | 辞職を承認する | 40. 2.20 | 〃 |
| 教 諭 (附属小学校) | 高 村 文 一 | 〃 (三日市小教諭に) | 40. 3.31 | 〃 |
| 助 手 (工学部) | 西 出 紀 子 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 助 教 授 (文理学部) | 片 山 操 | 辞職を承認する | 〃 | 文 部 省 |
| 助 教 授 (薬学部) | 岩 城 利 一 郎 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 教 授 (文理学部) | 植 木 忠 夫 | 昭和40年3月31日限り停年により退職した | 40. 4. 1 | 〃 |
| 〃 | 小 笠 原 和 夫 | 〃 | 〃 | 〃 |

学 内 諸 報

昭 和 39 年 度 卒 業 式

富山大学第13回並びに同経営短期大学部第4回の卒業式は、3月20日（土）午前10時から黒田講堂で行なわれた。

この日の卒業生は、各学部、短大合せて683名で、他に専攻科修了生4名。それぞれ卒業（修了）証書が授与され学長告辞、大臣祝辞（代読）、吉田知事ら来賓祝詞のあと行本達男（経済学部）、吉崎克彦（経営短大）の両君が、それぞれ卒業生を代表して答辞を述べ、蛍の光の奏楽裡に式が終った。

員

各学部学科別卒業生数は次のとおり。

| 学 部 | 学 科 等 | 男 | 女 | 計 |
|---------|----------------|-----|-----|-----|
| 文理学部 | 文 学 科 | 14 | 29 | 43 |
| | 理 学 科 | 48 | 8 | 56 |
| | (小 計) | 62 | 37 | 99 |
| 教育学部 | 小学校教員養成課 | 7 | 45 | 52 |
| | 中学校教員養成課 | 28 | 30 | 58 |
| | (小 計) | 35 | 75 | 110 |
| 経済学部 | 経 済 学 科 | 132 | 0 | 132 |
| 薬学部 | 薬 学 科 | 27 | 45 | 72 |
| 工学部 | 電 気 工 学 科 | 44 | 0 | 44 |
| | 工 業 化 学 科 | 56 | 0 | 56 |
| | 金 属 工 学 科 | 43 | 0 | 43 |
| | 機 械 工 学 科 | 54 | 0 | 54 |
| | (小 計) | 197 | 0 | 197 |
| 計 | | 453 | 157 | 610 |
| 経営短期大学部 | 経 営 科 (第2部) | 64 | 9 | 73 |

〔専攻科修了生〕

| | | | | |
|--------|-------------|---|---|---|
| 経済学専攻科 | 経 理 経 営 専 攻 | 2 | 0 | 2 |
| 工学専攻科 | 工 業 化 学 専 攻 | 2 | 0 | 2 |
| 計 | | 4 | 0 | 4 |

第1回修士学位記授与式

本学大学院（薬学研究科）の第1回修士学位記授与式は3月19日午前10時から本部会議室で行なわれ、本学はじめての修士として14名の修了生に薬学修士の学位が授与された。修了者氏名および論文題名は次のとおり。

記

安達 準 抗カビ物質として五員環ラクトン化合物の

合成とその抗カビ効果

- 荒木 博之 1-Aza quinolizidineの合成
 - 伊藤 照弥 イオン交換樹脂による核酸構成成分の分離
 - 石塚 勲康 リポフラビンのリン酸化反応
 - 稲垣 照夫 ABOBの新合成法
 - 小川 清美 2-Aza quinolidineの新合成法
 - 岡田 竹史 喘息性空中カビ生産物質の気管平滑筋収縮作用に関する分子薬理学的研究
 - 河村 政雄 S-Triazolo〔3, 4-b〕〔1, 3, 4〕-thiadiazole誘導体の合成化学的研究
 - 久保 喜一 “センソ”ステロイドのガスクロマトグラフィ
 - 熊木 健治 ヒドロキサム酸によるウレアーゼ阻害
 - 黒川 英二 Pyridoxine 異性体の合成
 - 斎藤直太郎 ホオズキ果実の黒焼成分について
 - 斎藤 晴夫 新クマリン系殺鼠剤に関する研究
 - 平井 嗣郎 強力なアトロピン様作用をもつ新化合物
1, 3-dioxolane誘導体の探索における分子薬理学的研究
- (以上14名)

養田教授に学術賞

富山県富山の文化、産業発展に貢献した功績者をたたえる富山新聞文化賞の贈呈式は3月11日富山県庁で行なわれ、本学工学部の養田教授にも学術賞が授与された。

【養田教授の表彰事績】伝統と経験で作られてきた鋳物、初めて科学のメスを入れるなど20年間にわたって金属材料の改良研究に心血を注いできた。とくに“キューポラの研究”は有名で、多くの鋳物工場がこの研究に着目し、生産率をあげている。

昭和18年東大工学部卒業後、同20年9月高岡工専教授となり、金属材料の研究一筋に打ち込んできた。33年「キューポラの研究」で工学博士号をうけたが、鋳造鉄の強度研究から変形しやすい鋳鉄の特性と強度のハガネをうまく結合させ、従来の鋳鉄よりも2倍も強いものを作りあげるなど金属材料の品質改良につくした功績は大きい。38年には日本鋳物協会から功績賞を受けた。

研究の半面、県の職業再訓練にも協力、業界の技術指導にもたずさわっている。（富山新聞より抜粋）

植木、小笠原両教授の停年退職

文理学部の植木忠夫、小笠原和夫両教授は、教育公務員特例法及び富山大学教員の停年に関する規程に基づき、本年3月31日限り退職されたが、その最終講義は3月12日午後同学部2番教室で「退官記念講演」として横田学長はじめ教職員、学生らが集まって行なわれた。

講演会では両教授とも長年の研究成果を披露し、満堂の

聴衆に深い感銘を与え、感んな拍手をあげながら教壇を去った。なお、両教授の記念講演の演題は次のとおり。

植木忠夫教授—越中の自然界にあらわれた動物のあれこれについて。

小笠原和夫教授—日本の風土と日本民族の歴史的存在。

本学職員の集団献血

本学教職員有志の集団献血は、3月17日、富山県赤十字血液センターから移動採血車「白はと号」を構内（職員ホール横）にむかえて行なわれた。

本学では、かねて体育会などが率先し、各クラブやサークル毎に約80名の学生が献血を終えているが、さらにこの献血運動を全学的に盛りあげるため、庶務課が中心となって全職員に呼びかけ、この日の集団献血となったもの。

第1回献血協力者氏名次のとおり。

本部—辺見儀平、石野俱行、平岡幸一、渡辺登美枝、清水寛、野田敏明、栃山和子、松下義春

文理—館熙道、松井巖、奥貫晴弘、小森典、白野明、島田政信、松下健作、五十嵐靖夫、土肥研二、沖野雪子、有田菊枝

教育—中川孝、塩谷孝雄、村沢巖

図書—滋野康雄、吉田恵吉

学内職員レクリエーション

バドミントン大会

とき 2月6日（土）午後1時～

ところ 新体育館

競技結果 優勝—経済・図書・短大チーム

次勝—教育学部チーム

3位—工学部チーム

囲碁大会

とき 2月6日（土）午後1時～

ところ 職員ホール

結果 参加者 競技成績

A級 12名 ①高木光司郎（文）、平岩広一（図）

B級 9名 ①根井仁三郎（工）②北林秀次郎（教）

C級 15名 ①石黒勝夫（本）、高山藤一郎（工）

（註） A級・C級とも①②位の決定をせず。

排球大会

とき 2月13日（土）午後1時～

ところ 新体育館

競技結果 優勝—教育学部チーム

次勝—経済・図書・短大チーム

3位—工学部チーム

職員消息

<新任者>

庶務課

事務員 野口 隆

〃 岡田 東彦

〃 尾山 吉昭

会計課

事務員 松本 進

技術員 林 有一

厚生課

技能員 高尾 郁子

文理学部

助教授 楠瀬 勝

〃 近堂 和郎

講師 吉田 和夫

教育学部

助教授 藤森 勉

講師 中川 暉

教諭 桐野 秋豊

〃 金川 和子

薬学部

教授 木村 康一

講師 日合 奨

助手 岡田 竹史

〃 中島 松一

教務員 池田 浩子

技術員 太田 洋子

技能員 橋本竹二郎

工学部

助教授 八木 寛

助手 時沢 貢

〃 島崎 利治

〃 榎田 正美

〃 長谷川 淳

教務員 高安 紀

技術員 黒川 浩正

〃 山本 健市

〃 高塚 清文

用務員 六土 幸男

<改姓>

工学部 技能員 清水とし子（旧姓・高田）

<住所変更>

薬学部

教授 木村 正康

〃 大浦 彦吉

技 官 塚越 章司
 工 学 部
 事務員 東 敏
 <地名変更>
 厚 生 課
 技能員 小善 ツヤ
 教育学部
 用務員 増山繁次郎
 薬 学 部
 助教授 田上昇一郎
 技 官 内山 幸吉
 技能員 栗山 政彦
 用務員 南 宗篤
 工 学 部
 教 授 若林嘉一郎

主 要 日 誌

本 部

2月1日 富山地区人事担当官会議（法務局）
 3日 学生就職に関する打合会（東京大学）
 5日 宿舍委員会
 6日 学内職員バトミントン大会
 ♪ 学内職員囲碁大会
 11日 給与実態調査説明会（金大教養部）
 ♪ 職員採用者面接
 ♪ 国立大学学生部長会議（国立教育会館）
 11～20日 入試願書受付
 12日 給与事務簡素化説明会（大阪大学）
 13日 学部対抗排球大会
 ♪ 富山地区共済卓球大会
 15日 職員採用者面接
 16日 欠員不補充の実施状況など聴取（文部省）
 ♪ 指定統計調査事務説明会（名古屋大学）
 16～26日 第2回人事事務研修（文部省）
 18日 欠員不補充措置実施状況聴取（文部省）
 20日 職員軟式庭球インドア大会
 20・21日 富山高専入試
 22日 評議会（第14回）
 23日 事務協議会
 27日 R連盟囲碁将棋大会（県職員会館）
 3月2日 事務協議会
 3・4日 北陸3大学施設担当者研修協議会（金大）
 6日 R連盟卓球大会
 8日 庶務係長会議
 10・11日 共済組合全国事務担当者打合会（国立科学博物館）

11～13日 技術監査
 12日 入試管理委員会
 15日 卒業認定評議会（第15回）
 17日 本学職員集団献血
 19日 学位記授与式
 20日 第13回卒業式
 22日 富山地区人事担当官会議
 23・24日 入学試験
 29日 構内電話の自動化，電話交換室開室式
 30日 評議会（第16回）
 31日 入試合格者発表

文 理 学 部

2月1日 選考委員会（英語）
 3日 教授会
 ♪ 人事教授会
 6日 文学科語学講座懇談会
 10日 選考委員会（英語）
 ♪ 人事教授会
 ♪ 文学科会議
 ♪ 理学科会議
 13日 後期授業終了
 17～24日 期末試験
 ♪ 文学科会議
 24日 学部補導委員会
 ♪ 人事教授会
 ♪ 文学科改組委員会
 27日 富山哲学会
 3月10日 文学科改組委員会
 ♪ 学部教授会
 ♪ 人事教授会
 12日 植木，小笠原両教授退官記念講演
 20日 文理学部卒業生職員合同祝賀会
 30日 学部教授会
 ♪ 植木，小笠原両教授送別会

教 育 学 部

2月3日 教務委員会，教授会
 9日 選考委員会
 10日 人事教授会
 17日 学部長候補者選挙
 18日 教育実習委員会
 19日 教務委員会
 24日 選考委員会
 ♪ 職業補導委員会
 ♪ 教務委員会
 27日 日本畜産学会北陸支部富山県分会総会
 3月2日 選考委員会

- 3日 教務委員会
 ♪ 特別教職課程委員会
 4日 補導委員会
 5～11日 体育実技スキー実習（志賀高原）
 6日 選考委員会
 8日 人事教授会
 12日 教務補導合同委員会
 ♪ 教授会
 15日 附属小学校卒業式
 17日 附属中学校卒業式
 18日 附属幼稚園修了式
 ♪ 入学試験監督者打合会
 23・24日 入学試験
 30日 教務補導合同委員会
 ♪ 教授会

経済学部

- 2月5日 学部長候補選挙管理委員会
 ♪ 越嶺会役員会
 6日 39年度後期15週終了
 8～10日 39年度後期補講
 11～20日 30年度後期末試験
 11日 教務委員会
 ♪ 人事教授会
 ♪ 教授会（第17回）
 ♪ 経済学部短期大学部合同委員会
 15日 人事教授会
 ♪ 学部運営委員会
 16日 職業補導委員会
 23日 学部運営委員会
 ♪ 選考委員会
 24日 教務委員会
 25日 学部長候補選挙
 ♪ 教授会（第18回）
 3月5日 選考委員会
 ♪ 人事教授会
 11日 教務委員会
 ♪ 教授会（第19回）
 ♪ 人事教授会
 ♪ 各種委員選考委員会
 ♪ 学部運営委員会
 16日 選考委員会
 ♪ 教授会（第20回）
 20日 卒業祝賀会
 22日 選考委員会
 ♪ 人事教授会
 30日 教務委員会
 ♪ 教授会（第21回）

薬学部

- 2月3日 輸入土壌（韓国産）研究終了後の立合検査実施
 5日 薬学部創立75周年記念事業委員会
 ♪ 75年史編集委員会
 6日 卒業生予餞会（黒田講堂）
 8日 75周年記念事業委員会（総務委員会）
 9日 ♪ （常任委員会）
 10日 カリキエラム小委員会
 20日 後期授業終了
 ♪ 富山薬窓会役員会
 22～24日 補講授業
 26日 39年度後期末試験（3月6日まで）
 ♪ 係長会議
 3月3日 教授会
 ♪ 研究科委員会
 ♪ 人事教授会
 6日 後期末試験終了
 8日 大学院薬学研究科修了見込学生研究発表会
 10日 教授会
 ♪ 研究科委員会
 11～17日 3年次学生追再試験
 18日 入学試験打合会
 ♪ 再試験科目担当教官会議
 19日 第1回大学院薬学研究科学位記授与式
 ♪ 教授会
 23～24日 入学試験
 30日 教授会

工学部

- 2月17日 教授会及び専任教授会
 28日 本省第3予算班白取主査施設視察のため来学
 3月9日 専任教授会
 13日 教授会
 18日 本省会計課第2予算班国立学校決算係長など施設視察のため来学
 23・24日 入学試験
 30日 教授会

附属図書館

- 2月23日 増加図書目録発刊
 25日 時間外閲覧休止
 3月3日 部内図書整理事務研修会
 9日 事務打合会
 12日 図書館商議会（第5回）
 29日 図書館レファレンス事務講習会（県立図書館）

経営短期大学部

- 2月10日 入学願書受付開始
- 11日 経済学部経営短大合同委員会
- 11～17日 学期末試験
- 17日 教官会議
- 18日 卒業生予餞会
- 20日 入学願書締切=受付数186(内女子11)
- 25日 教官会議

昭和40年4月20日

印刷所 昭和印刷 KK